

以下の方は来院前に必ずお電話ください

- ① 新型コロナ感染疑いの方。
- ② 新型コロナ感染の濃厚接触者の方。
- ③ 発熱や咳などの風邪症状がある方。
- ④ 倦怠感・息苦しさ高熱の症状の方。
- ⑤ 下痢のある方。

※来院時には必ずマスクを着用してください。

※上記の方は院内のトイレは使用できません。あらかじめ用を済ましてお越しください。

< 新型コロナウイルス感染症に関する相談は下記へおねがいします >

沖縄県新型コロナウイルス感染症コールセンター：098-866-2129

< 濃厚接触者かどうかの判断は管轄の保健所に相談してください >

保健所名	電話番号	管轄市町村
中部保健所	098-938-9701	宜野湾市・沖縄市・北谷町・北中城村など
南部保健所	098-889-6591	糸満市・浦添市・豊見城市・西原町・南風原町など

濃厚接触者の定義

厚生労働省ウェブサイトより抜粋

- 新型コロナウイルス感染者から、ウイルスがうつる可能性がある期間（発症2日前から入院等をした日まで）に接触のあった方々について、関係性、接触の程度などについて、保健所が調査（積極的疫学調査）を行い、個別に濃厚接触者に該当するかどうか判断します。
- 接触確認アプリを利用いただくと、陽性者と、1 m以内、15分以上の接触の可能性がある場合に通知が行われ、速やかな検査や治療につながります。
- 15分間、感染者と至近距離にいたとしても、マスクの有無、会話や歌唱など発声を伴う行動や対面での接触の有無など、「3密」の状況などにより、感染の可能性は大きく異なります。そのため、最終的に濃厚接触者にあたるかどうかは、このような具体的な状況をお伺いして判断します。

※濃厚接触者かどうかの判断は管轄の保健所に相談してください。

新型コロナ疑い例の療養について

- 感染の可能性が否定できない段階（発症後7日以内）での通勤・通学は推奨されません。
- 症状が起きた日を0日として発症から7日間、および症状改善後72時間はできるだけ外出せず、自宅療養してください。
- 症状が持続してPCR検査を希望する場合は、中部地区医師会のコロナ問診サイトで判定するか、県のコールセンター（098-866-2129）で相談してください。
- 症状が辛いなど緊急性が高いと思われる場合は救急病院を受診してください。
- この場合、できるだけ事前に電話をして受診方法確認してください。

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
						
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
	吐き出し飛沫量					
	100%	20%	18-34%	50% ^{※2}	80%	90% ^{※2}
	吸い込み飛沫量					
	100%	30%	55-65 ^{※2}	60-70% ^{※2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

※2 豊橋技術科学大学による実験値

● 実験 (マスクは厚生労働省が示す正しい着用方法にもとづいています。)

さまざまな素材のマスクを着用した人頭モデルにミスト生成装置を接続し、飛沫の飛散状況をレーザー光を用いて可視化、カウントしました。吸い込み時の計測は実際に人がマスクを着用。飛沫の直径は、0.3 μ m(小さな飛沫)から200 μ m(大きな飛沫)まで計算しています。

● 結果

吐き出し:飛沫量は不織布、布ともに8割が捕集されます。

吸い込み:不織布マスク着用時、マスクと顔に隙間がある場合でも上気道(鼻から鼻腔、鼻咽腔、咽頭、喉頭)への吸引飛沫量を1/3にすることができます。フェイスシールドにおいては、大きな飛沫(50 μ m以上の水滴)については捕集効果が見込めるが、エアロゾルはほぼ漏れてしまう。